

職場におけるLGBTIQ+



NIJIIRO DIVERSITY

認定NPO法人 虹色ダイバーシティ



村木 真紀

NPO虹色ダイバーシティ代表。
1974年生まれ、茨城県出身。
京都大学 総合人間学部 卒業。
社会保険労務士。

日系製造業、外資系コンサルティング
会社等を経て現職。

日経WOMAN、大阪弁護士会等で表彰。
T&G二ーズ社外取締役 に就任。



Equal Rights Coalition 2016-

Albania	Argentina	Australia	Austria
Belgium	Cabo Verde	Canada	Chile
Costa Rica	Cyprus	the Czech Republic	Denmark
Ecuador	Estonia	Finland	France
Germany	Greece	Iceland	Honduras
Ireland	Israel	Italy	Lithuania
Luxembourg	Malta	Mexico	Montenegro
the Netherlands	New Zealand	North Macedonia	Norway
Portugal	Serbia	Slovenia	Spain
Sweden	Switzerland	Ukraine	United Kingdom
United States	Uruguay		42ヶ国

ERC 2022 共同宣言（一部）

These human rights abuses and violations – which we condemn unequivocally – are on the rise. They include discrimination, violence and arbitrary arrests, based on real or perceived sexual orientation, gender identity or expression, or sex characteristics. Several actors, including states, are mobilising narratives which appeal to “traditional values” and cultural divisions to justify new anti-LGBTI+ legislation, often referred to as the global anti-gender movement.

- ✓ Strengthening relations with the private sector and to work together to foster in all sectors of society, including workplaces, the human rights of LGBTI+ persons.
- ✓ Encouraging the establishment of specific policies for transgender and non-binary persons to live their lives fully, freely and without the threat of violence or persecution, particularly in workplaces.

Keyword

反ジェンダー運動

市民団体との協働

トランスの権利

LGBTQI Human Rights Scorecard



The report card items are based on 2020 baseline data.

80%

DIMENSION 1: BASIC HUMAN RIGHTS

	YES	NO
1 No criminalization of sexual orientation	●	●
2 No criminalization of gender identity or expression	●	●
3 Freedom from arbitrary arrest based on sexual orientation	●	●
4 Freedom from arbitrary arrest based on gender identity	●	●
5 Legal recognition of gender identity	●	●
6 No physiological alteration requirement for legal gender recognition	●	●
7 No psychiatric diagnosis requirement for legal gender recognition	●	●
8 LGBTQI organizations are allowed to legally register	●	●
9 LGBTQI organizations are able to peacefully and safely assemble	●	●
10 Security forces provide protection to LGBTQI pride participants	●	●

LGBTQI Human Rights Scorecard

10%

DIMENSION 2: PROTECTION FROM VIOLENCE

	YES	NO
11 Ban on gay conversion therapy	☐	☒
12 Hate crimes legislation includes sexual orientation	☐	☒
13 Hate crimes legislation includes gender identity	☐	☒
14 Hate crimes legislation includes sex characteristics	☐	☒
15 Hate speech laws include sexual orientation	☐	☒
16 Hate speech laws include gender identity	☐	☒
17 Equality body mandate exists	☐	☒
18 Prohibition of medically-unnecessary non-consensual medical interventions on intersex individuals	☐	☒
19 Gender affirming prison accommodations	☐	☒
20 Asylum for LGBTQI individuals is available within the country	☒	☐

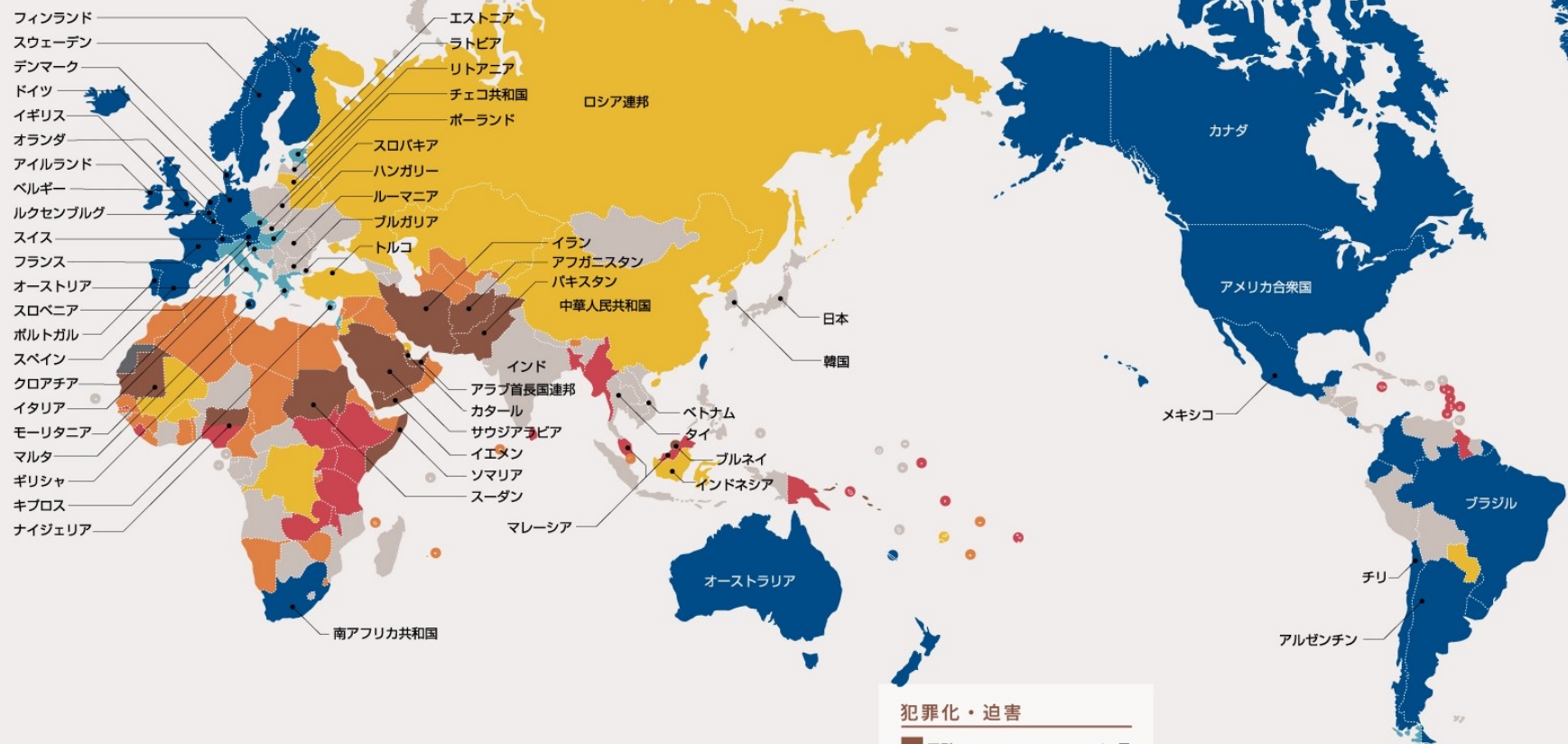
LGBTQI Human Rights Scorecard

0%

DIMENSION 3: SOCIO-ECONOMIC RIGHTS

- | | YES | NO |
|--|-----------------------|----------------------------------|
| 21 Workplace non-discrimination laws include sexual orientation | ☐ | ☒ |
| 22 Workplace non-discrimination laws include gender identity | ☐ | ☒ |
| 23 Workplace non-discrimination laws include sex characteristics | ☐ | ☒ |
| 24 Fair housing non-discrimination laws include sexual orientation | ☐ | ☒ |
| 25 Fair housing non-discrimination laws include gender identity | ☐ | ☒ |
| 26 Head of state supports marriage equality | ☐ | ☒ |
| 27 State allows for marriage equality | ☐ | ☒ |
| 28 State prohibits discrimination in healthcare based on sexual orientation | ☐ | ☒ |
| 29 State prohibits discrimination in health care based on gender identity | ☐ | ☒ |
| 30 Legal classifications (such as an X sex or gender marker) universally available | ☐ | ☒ |

ちなみにオランダは 100%



性的指向に関する世界地図

性的指向に関する法律は、国や地域によって違う状況です。同性間の関係を犯罪とみなす法律がある国もあり、死刑や禁固刑などが適用される場合もあります。一方で、法による保護も広がっています。憲法によって法の下での平等が保証されている国、雇用の場などでの差別禁止法がある国、LGBTへの差別的言動がヘイトクライムと見なされる国もあります。2001年にオランダで同性間の婚姻が可能になり、2013年にはイギリス、フランス、2015年にアメリカ、2017年にドイツ、オーストラリア、2019年にはオーストリア、台湾でも同性間の婚姻が可能になりました。現在、G7で国レベルの同性パートナーへの法的保障がないのは日本のみとなっています。日本は、同性間の関係は犯罪ではありませんが、包括的な差別禁止法はなく、同性間では婚姻もできない国であり、国連人権理事会などから人権侵害であると指摘を受けている状況です。

(制作:認定NPO法人紅色ダイバーシティ 2022年7月)

犯罪化・迫害

- 死刑 12カ国
- 禁固刑 10年～終身 27カ国
- 禁固刑 10年未満
または刑罰不確定 31カ国
- 法による制限 18カ国
- 犯罪化・承認なし

パートナー関係の承認

- 婚姻 32カ国
- 婚姻とほぼ同等の
代替制度 31カ国

1つの国の中で半分以上の地域が平等な婚姻を認めている場合は、その国は濃い青色(婚姻)で表示されています。

注 ・パレスチナのガザ地区では成人同性間の性的行為が違法とされている。
・インドネシアではアチェや西スマトラ・南スマトラの一部地域において、成人同性間の性的行為が違法とされている。
・エジプトとイラクは、法律上は違法ではないが事実上違法の状況である。

この表は、ILGA Worldの報告書 State-sponsored Homophobia を参照して、認定NPO法人紅色ダイバーシティが日本語訳し、2022年7月までの婚姻の状況をアップデートしたのになります。引用される場合は引用元を明記してください。

LGBTQの生涯を通じた困難

LGBTQは人生を通じて、さまざま困難に遭遇しがちです。
法制度の不備もあれば、社会の受容度の問題もあり、問題は複合的です。



若年層

学校で基礎知識を学べない
性別で区分する環境
友人同士のいじめ、からかい
スポーツ現場での排除
教職員にも相談できない
保護者の無理解、ネグレクト

→ 就学困難、中退



勤労世代

職場でのハラスメント
福利厚生が適用されない
非正規雇用・転職が多い
医療や住居での差別
同性同士で結婚できない
性別変更の要件が厳しい

→ 貧困に陥りやすい



高齢期

看取りや葬儀での排除
パートナーから相続困難
社会保障も適用されない
高齢者住宅での排除の不安
親の介護での困難
ロールモデルが足りない

→ 精神的、経済的不安

LGBT近年の動き 2012-2016

年	行政・司法など	企業	海外
2012	・ 自殺総合対策大綱に明記 ・ 「よりそいホットライン」にLGBT専用回線→相談二ーズ	・ 週刊ダイヤモンドと週刊東洋経済がLGBT特集 ・ 電通総研がLGBTに関する調査データを発表	・ 国連Free&Equal
2013	・ 淀川区LGBT支援宣言	・ 東京ディズニーシーで同性結婚式	・ 英仏で同性婚
2014	・ 「セクハラ指針」に記載	・ ホテルグランヴィア京都が春光院と同性結婚式プラン発表	・ オリンピック憲章改正
2015	・ 文部科学省が学校向けに通知 ・ 渋谷区、世田谷区でパートナーシップ制度（11月） ・ 経産省トランスジェンダー職員の裁判が始まる（係争中）	・ 日経ビジネスでLGBT特集 ・ 生命保険の受取人について同性パートナーも指定可能に（ライフネット生命等）	・ 米で同性婚
2016	・ 「公正な採用選考の基本」に明記	・ 「PRIDE指標」開始、福利厚生を適用する企業が増える	・ ERCスタート

LGBT近年の動き 2017-2022

年	行政・司法など	企業	海外
2017	「いじめ防止基本指針」に明記 - 日本学術会議が提言を発表 - 経団連、連合が提言を発表	- 東京五輪「持続可能性に配慮した調達コード」 - みずほ銀行、楽天銀行が同性カップルも住宅ローンを組めると発表	独豪で同性婚
2018	「モデル就業規則」に明記 - お茶の水女子大がトランス女性の受け入れを発表	大阪観光局がIGLTAに加盟(2024年の招致を目指して活動)	
2019	「結婚の自由をすべての人に」裁判		台湾で同性婚
2020	「パワハラ指針」に明記 「ビジネスと人権」に関する行動計画	Business For Marriage Equality	
2021	- 札幌地裁判決(3/17)→違憲 - LGBT理解増進法が廃案に	ナスダック上場企業に女性や人種的マイノリティ、LGBT等の登用を求める	
2022	- 大阪地裁判決(6/20)→合憲 - 東京都パートナーシップ制度(11月) - 東京地裁判決(11/30)	- TRPリアル開催、企業姿勢が問われる - EXPO2025調達コード	

「働きやすい職場」は「住みたい国」に

✓LGBTQI+に関する差別のない職場づくり（制度、雰囲気）

✓LGBTQI+に関する人権デューデリジェンス

- 国内だけではなく、海外の労働者も視野に
- 自社だけではなく、取引先からのハラスメントも防ぐ
- 従業員向けだけではなく、消費者向けの商品・サービスも点検
- 6月だけではなく、いつでも取り組める体制を
- 市民団体との対話、協働の推進

✓LGBTQI+に関する法整備にコミットを

20代のLGBTQI+
日本で働きたい？
家族は？ 子どもは？

